



流星舎 3/23搬入予定新刊 事前注文書

# 『六月の満月』 一雫ライオン

『二人の嘘』『流氷の果て』の一雫ライオン最新刊  
2025年に創業した出版社「流星舎」の  
創立記念特別書き下ろし長編小説です！

**愛のぬくもりを知った。幸せだった。あの青年が現れるまでは――。**

山井章吾は二十歳の時、人を殺めた。出所した彼を出迎える者は、一人もいなかった。巴実日子は二十二歳の時、ある事件によって未来と希望を奪われた。それでも彼女は、あえて笑顔で生きていた。そんな二人が出会い、ほのかに惹かれ合う。なんでもない日常が、互いの孤独を溶かしていった。だが、過去は簡単には眠らない。ある日、章吾の前に現れた一人の青年。「六十五番さんっすよね?」。その声が告げたのは、刑務所にいた頃の章吾の”名前”だった――。三人の宿命が交わる先にある結末とは？ 罪と罰の果てにある救いを描く究極の恋愛小説。

※流星舎刊行書籍は「発行：流星舎 発売：幻冬舎」となります。事前注文につきましては流星舎にて承ります。発売後は流星舎、または幻冬舎営業局にて承ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 〈流星舎よりご挨拶〉

流星舎は2025年に創業した新しい出版社です。一雫ライオンさんとは2021年に『二人の嘘』という小説でお仕事を一緒にしたのですが、彼との交流を重ねるうちに「この人ともう一回仕事をする時には、新しい自分になって、新しい勝負がしたい」という思いが強まり、それが流星舎を立ち上げる原動力になりました。最初の原稿をいただいてから半年間、毎日のようにやり取りをして、この『六月の満月』をブラッシュアップしてきました。まだ新しい作家と出版社ではありますが、本作をご高覧いただき、今後とも未長いお付き合いをいただければ幸いです。

流星舎 有馬大樹



一雫ライオン (ひとしずく・らいおん)

一九七三年生まれ。俳優としての活動を経て、演劇ユニット「東京深夜舞台」を結成後、脚本家に。多くの作品の脚本を担当後、二〇一七年『ダー・天使』で小説家デビュー。二〇二一年、女性判事と元服役囚の悲恋を描いた『二人の嘘』がベストセラーとなる。その他の作品に『スノーマン』『流氷の果て』などがある。

## 『六月の満月』の感想を

お寄せいただけたら幸いです。

<https://forms.gle/uTDyfqqvAA3JWRvHA>

※メールやFAXにて感想をいただける場合は、流星舎有馬大樹宛にお願いいたします。



番線印

ご希望数

3/23搬入予定

『六月の満月』 一雫ライオン 著

冊

ISBNコード：978-4-344-95512-7 本体価格：未定

流星舎 担当：有馬大樹 arima@ryuseisha.jp

TEL:03-6824-7004 FAX:03-6800-2893

初回指定締切:3/2 (月)